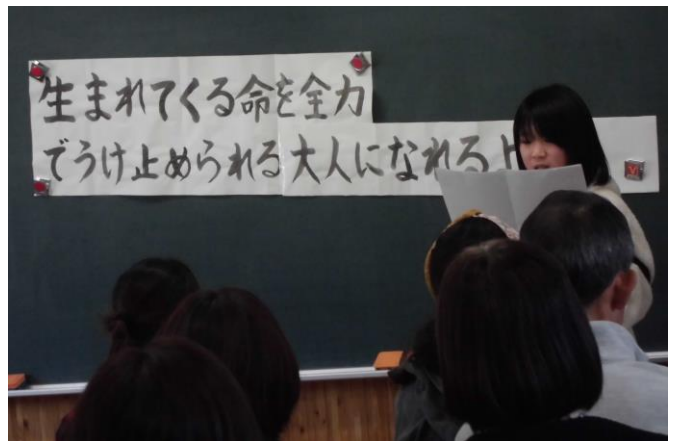


6年生参観日

6年生が最終授業参観日を終わりました。「6年生を送る会」で演奏予定だという合奏『千本桜』の音楽室での先行演奏もありました。素晴らしい演奏で、わずかの練習期間で仕上げていることをまったく感じさせないものでした。あらためていろいろな場面で、6年生の底力を感じさせられています。「送る会」当日の体育館演奏が、またとても楽しみになりました。

教室に移動して、『心に残ることば』の発表がありました。

6年生が今まで出会ったことばのなかから、自分の心に響いたもの、人生の指標となったものなどについて、そのいきさつも含めて一人ひとり発表しました。それぞれにご家族をはじめとする出会ってきた「ひと」から受けた言葉、あるいは運動選手のコメントやアニメ登場人物のセリフから引用した言葉など、その子らしさ、そしてその子どもさん



の人となりか如実にあらわれていて、しかも心を打つものばかりでした。紹介文の書き方は、国語単元で学び、ベースとなるものがあるのだそうですが、24名の誰もがきちんと書き尽くしていました。今は6年間の集大成でもある、すてきな場面に立ち会わせていただいたという想いがいっぱいです。

おめでとう 書き初め展入選

『市民タイムス 第33回書き初め展』で以下の皆さんが銅賞入選を果たしました。

- 1年 待井未桜奈さん
- 4年 塚原菜々子さん
- 5年 町田 翔さん
- 5年 待井 咲那さん
- 5年 峯村 友萌さん
- 6年 森山 紗菜さん

新しい年最初のがんばりがこのような形で認められて、嬉しいですね。

これからも自信を持って一層力強く筆（鉛筆）をふるってください。

6名の皆さん、おめでとうございます。



心をこめて卒業生を送ります ～6年生保護者の皆様に～

残す登校日数も13日となりました。週明けはいよいよ3月を迎えます。

さて、連日新型コロナウイルスに関わる報道が続き、県内全域が心配な状況にあることはご存じのとおりです。別紙通知によりお知らせしましたとおり、今年度「卒業式」につきましては、ご来賓を制限し、祝辞等も割愛させていただいて挙行させていただきます。また、保護者参列をご両親のみとさせていただきます。幼児やご高齢の方が罹患すると生命をおびやかす程重篤であることからの配慮ですので、何とぞご理解ください。

「卒業式」が学校行事の中で最も大切な行事であることを、わたし自身が教えられ、また今までお伝えして参りました。たいじなだいじな卒業生の門出に、このような対応をしなくてはならないことに心が痛みます。しかし、ひとの「命」にも害を及ぼしかねない脅威に対して、できることには力を注がなくてはなりません。

ランチルーム給食を学級給食に切り替えたり、卒業式の呼びかけや歌の練習等も全校児童が集まる機会を極力減らしたりして進めています。年度末でもあるので、1年間を振り返る機会や6年生に前に出てもらおうお楽しみ企画もあれこれ予定されていましたが、それらも最小限にさせてもらっています。卒業学年の皆さんにとってはもちろんのこと、感謝の気持ちを込めてお送りする在校生にとってもこんなさみしいことは無いと思います。でも、そうであればこそ、今できることにその「心」を最大限にこめて伝えたいと考えます。全校児童、全職員の気持ちは同じです。卒業式におきましても例年とは異なるかたちにはなりますが、麻績小学校全体が本気で卒業生をお送りします。どうぞよろしく願いいたします。

お願い・お知らせ

- 1 お知らせしております対応については、現状に即しての判断です。今後の状況変化により変更も考えられます。その折には、改めてお知らせをいたします。
- 2 校内で感染者が出た場合に、学校は休校となり、卒業式も実施できなくなってしまいます。あらためまして児童はもちろんのこと、ご家族の皆様にも一層の感染防止へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。
- 3 学校では、児童が集まる機会にマスクの着用を徹底しています。どの店舗でも品薄で、マスクが入手困難な状況に思われます。学校備蓄にも余裕はないのですが、子どもさん分が入手できずにどうしてもお困りの際には担任を通じてご相談ください。

* 県から「マスク入手困難な場合は、ガーゼマスクやタオルなど代用品の活用もご検討ください」という指示もあります。あわせてお考えください。